



生活習慣病の予防など 病院設備や規模を活かした 身近なかかりつけ医を目指す

昨年9月、さくら会病院の内科部長として赴任された甲斐達也先生。専門である高血圧や糖尿病のほか、睡眠時無呼吸症候群の治療など新たな取り組みを次々と導入。その思いと展望についてうかがった。

社会医療法人さくら会 さくら会病院
甲斐 達也 内科部長

高血圧や糖尿病など 生活習慣病にも対応

脳神経外科や整形外科の患者が中心となるさくら会病院では、両科の入院患者に対して内科疾患管理や合併症併発時の治療のバックアップが内科の大きな役割となる。昨年9月に甲斐先生が赴任され、内科の体制が充実したこともあり、高血圧や糖尿病など生活習慣病のコントロールにも積極的に取り組んでいる。「高血圧は日本で一番多い病気です。高血圧には、内分泌疾患や血管異常など二次的な要因で起こるものも少なくありません。その場合は要因を無くせばよくなる場合もありますので、気軽に相談ください」。

無呼吸症候群の検査・治療 健康教室なども実施

「最近話題になっている睡眠時無呼吸症候群。眠さや居眠り運転による交通事故が指摘されていますが、それ以上に他の病気の罹患率が上がることが問題です。無呼吸の方は動脈硬化を起しやすく、心筋梗塞や脳卒中になる率が一般の約4倍と言われています。また、低酸素になることからがんの発症や認知症との関連も指摘されています」と甲斐先生。肥満の人がなるイメージが強いが、日本では約4割は肥満以外の人が発症している。日本全体で約300万人の患者がいる中で治療を受けているのは約1〜2割というのが現状だ。「睡眠時なので自覚がないのが一番の原因です。当院では自宅で気軽にできる簡易検査も実施。症状が発見された方でも、COPDなどの治療法もありますのでご安心ください」。MRIやCTなどの検査機器や入院設備などのスケールメリットを活かし、地域に根ざした規模の大きなかかりつけ医を目指す甲斐先生。市民を対象に毎月開催する健康教室も、住民の健康への意識を高めてほしいとの思いから。



昨年9月にさくら会病院に赴任。「病気の予防など身近な医療を提供していきたい」と話す甲斐先生。



1. 携帯型の検査装置を用いてご自宅で簡単に「睡眠時無呼吸症候群」の検査が行える。
2. 毎月開催している「健康教室」。病院の会議室で行われ、市民が気になる健康の情報を提供している(参加無料・要予約)。

▶ 医療詳細ページ有り 109P

hospital data

社会医療法人さくら会 さくら会病院 / TEL:072-366-5757 大阪狭山市半田5-2610-1 <http://www.sakurak.jp/>